

大阪大学図書館報

Vol.23 No.2/3 Sept.1989(平成元年)通巻97号

目 次

- | | |
|--|-------------------------------|
| ○化学文献の閲覧・検索など一思い出す
ままに | ○平成元年度教養図書選定顧問教官との
懇談会開かれる |
| ○米国医学図書館視察報告(4)
- Briscoe Libraryを見学して- | ○教官著作寄贈図書 |
| ○利用者オンライン目録検索(OPAC)
の利用状況 | ○会議 |
| ○1988年度利用統計(本館)について | ○日程 |
| | ○人事 |
| | ○統計(図書館の概況) |

化学文献の閲覧、検索など一思い出すままに

笠井暢民

戦後、いつの頃からか東京の日比谷公園にSCAPと呼ばれる図書館が開かれた。当時日本では珍しい開放式の図書館で、占領軍の好意でアメリカで出版された新刊書や雑誌などを備え、その中には専門書や学術雑誌も含まれていた。先輩の先生方のお話によると、夜行列車で上京、翌日丸一日をこの図書館で目当ての専門雑誌と取り組み、関係の深い論文の検索と筆写に過ごし、再び夜行列車で帰阪、というハードスケジュールだったようである。座席をとるため、発車時刻の数時間前から列を作つて並び、改札と同時に階段やプラットホームを走り、やっとの思いで座ることの出来た背中の堅い三等車で10時間ほど揺られて東京へ。通路は立ったままの乗客でいっぱい。こうして苦労して得た新しい知識を研究室で分けあつたという。

話が前後するが、昭和25年頃是非とも読みたい論文がイギリス電気化学協会誌に載っていることを見つけた。日比谷の図書館にある筈はなく、近畿の大学や研究所の図書館にもなかった。そこで別刷請求の方法も知らず、どうしたらよいかを先生に教わらないまま、ただガムシャラに怪しげな英語を綴つて、上記電気化学協会に手紙を出したことがあった。たしか、これこれの論文が読みたいと必要事項を書いたほかに、「占領下で『円』が国際的に通用しないので助けていただけないだろうか」とかいった文章を付け加えたと思う。忘れた頃に、著書から別刷が船便で送られて来て非常に感激したことがあった。

やがて、この図書館が大阪、北浜にも開かれた。その頃には我々も、市電を北浜三丁目(証券取引所前)あるいは高麗橋三丁目(三越前)の停留所で降りて、ここに通うようになっていた。Chemical Abstracts(以下CAと略す)も書棚に並んでいたが、化学関係の専門雑

誌の中では最もくたびれており、全部揃って棚にあることは滅多になく、そのうちの何冊かはいつも誰かが見ていた。CAから探し出したり、あるいは新着の専門誌から直かに見つけた論文は、持参の薬半紙の間にカーボン紙を挟んで、同時にコピーを2部とりながら、本文をせっせと筆写していった。図版は薬包紙に写し取った。今もファイリングキャビネットに、茶色に変色しボロボロになりかけた、当時の筆写文献がいくつか残っている。

この図書館はその後桜橋近くに新築された産経新聞のビルに移った。さらに大分遅れて神戸、三宮にも設置され、その頃にはアメリカ文化センターと呼ばれるようになっていた。もちろん京都にもあった。

余談になるが、喫煙機械を作つて同時に100本あるいはそれ以上の煙草を吸わせ、集めたガスの成分を分析した結果がIndustrial Engineering Chemistry, Analytical Editionなどに盛んに載っていたのもこの頃のことであった。タールとか一酸化炭素などの含まれているのは当然のこととして、二硫化炭素や極く微量のシアンまで含まれているという驚くべき事実が報告されていた。アメリカの煙草の箱に、「喫煙は健康によくない」という表示が出るようになったのは、それから随分経つてからのことであった。

長い苦しい時代を経て、やがて大学の図書館でもCAや海外の専門書、学術雑誌が買えるようになり、アメリカ文化センターは使命を果して、感謝されながら閉館した。

国内はもちろん、海外でも化学の研究が非常に盛んになり、CAに抄録される論文数が飛躍的に増加し、CAは年々分厚くなり、購入価格も毎年のように値上げされるようになった。この値上げは、校費の一部をプールして捻出した、学科図書室の図書購入予算を徐々に圧迫していった。それでもCAは必要なので、学科の図書購入予算から単行本購入の割合を削減して急場を凌ぎ、遂には一切の単行本購入を取りやめて対処したものの、焼石に水の感が強かった。ところで、索引については、毎年の巻末索引すら遅れがちで、まして検索に重宝な5~10年分のCAの総索引は出版がどんどん遅れ、やっと出来上がったものは作成に要した費用から非常に高価なものとなって手が届かなくなってしまった。そこで、吹田地区では、吹田分館に工学部、薬学部、産業科学研究所、蛋白質研究所などCA購入に関係の深い部局の者が集まって議論の末、総索引購入を附属図書館が肩代りすることになった。以後、最新のCA検索は吹田分館で、他の索引とCAそのものの閲覧は各部局の図書室で、这种方式になり、利用者にとっては不便なことになってしまった。

一方、電子計算機の大型化に伴い、このような総索引に頼らないCAの検索が始まっていた。文部省の科学研究費補助金を利用して、東京大学大型計算機センターでCAの書誌情報の検索システムTOOL-IRが開発された。このシステムを用いてのCAの検索は当初無料であった。ただ検索を要した時間の計算機使用料と大阪からの電話料だけを支払えばよかった。それでも全情報を大阪でプリントアウトすると電話料が嵩むので、キーワードに対する文献数に応じて、数が非常に多く、近々東京出張の予定のあるときは、その際にプリントアウトすることにしたりした。しかし、この東京大学大型計算機センターのCAは検索に使用できるメモリーに制限があって、古いものは順次新着のものに置き換えられたので、便利ではあったが、限られた年度のものしか検索出来なかった。なお、かなり経つてから、検索そのものにもCAから料金が取られるようになった。

その後、商業ベースによる直接アメリカのCA検索など、色々あったが、CAS ONLINEシステムによるCA検索が大学で出来るようになった。これは通信衛星を利用してTexasのCASセンターで検索するものである。検索時間を短縮するために、CAの情報を分けて入れてある8台の電子計算機で同時に検索を開始し、そのうちの1台で目的の情報が見つかると他の7台はストップする、というやりかたで検索が行なわれると聞いたが、不勉強で最近の

詳しいことは知らない。

CAS ONLINEは、時差のおかげで、日本からの検索の多い時間帯はアメリカの閑散時であるので、当初の検索料金、特に大学関係の料金は格安であった。便利さを覚えた日本のユーザーがどっと殺到するようになつたので、次々と検索料金は値上げされていった。しかし、いったん覚えた便利さは何物にも換えられないので、「高くなつた」と呟きながらも、せっせとCAS ONLINEを利用しているのが現状であろう。初めはタダ同然で釣り、便利さに中毒したユーザーが増加した段階でどんどん値上げする、「ユダヤ人の商法」とはこのことであらうか。

ところで、これは日本で印刷され、海外での販売を外国の大手出版社に委託した洋書の話である。当時の国内販売定価8,500円（著者割引6,800円）のものが、要求されるままに別に刷った海外販売用のカバーをつけて、たしか定価の1/4程度のFOB価格で外国の出版社へ売り渡されたものが、日本に再上陸して書店の店頭に並ぶと2万円あまりとなって、あっとビックリしたことがあった。ドル360円の頃のことであった。そのドルも現在は140円前後、安くなったものである。しかし、何故か国内で買う洋書、洋雑誌の値段はドル360円時代と較べてそれほど下がった感じがしない。個人が外国の書店に注文して代金をカードで支払う直接購入の場合と比較するわけにいかないが、また洋書取扱業者も経営上利潤を追求することも当然のことであるが、とにかく高すぎる。

マイナスシーリングあるいはゼロシーリングで抑えられた校費から捻出された乏しい図書購入予算では現在の洋書、洋雑誌の価格に耐えられるものではない。まして、二、三の洋雑誌の値上げでもあらうものなら、予算はたちまちパンク。しかたなく翌年度の購入リストの中からどれかを削除することになる。学科図書室での利用頻度、価格などを勘案し、学内他部局の講読状況を見て、そちらを利用させていただくことにして、講読中止ということになる。いい迷惑なのは當てにされた学部や研究所で、次の年度から他部局の職員、学生にどっと押しかけられて図書室はパニック状態となる。

（かさい のぶたみ 吹田分館長 工学部教授）

米国医学図書館視察報告（4）

—Briscoe Libraryを見学して—

玉川裕夫

その日は朝からテキサスらしい青空が広がっていました。真っ白な雲に真っ青な空です。私の住んでいるオースチンからサンアントニオまでフリーウェイを車で1時間半。FMラジオから流れるカントリーミュージックを聞きながら、今日も暑くなりそうだなと思うと、鈴木分館長をはじめ、この地にはじめてこられる視察団のみなさんが気の毒でした。事実、当日の最高気温は105°F (40°C)、この日をピークにテキサスの気温は下がりはじめ、テキサスでも最も暑い時期に「Briscoe Library」の視察が行なわれたのです。

図書館横の広々とした駐車場に車をおいて、「Briscoe Library」をみあげると、大きな出窓を配し、さっそうとしたデザインの建物は、中身の素晴らしさを見る前から想像させてくれました。太陽が照りつける駐車場から案内されたオフィスは、空調がよく効いており、アメリカらしく充分にスペースを取った設計にはため息がでました。スタッフが余裕を持って仕事をしているように見受けられましたし、途中でちらっと見えた閲覧室もゆったりとし

た空間の中に整然と図書が並べられていました。図書館というよりもしゃれたホテルというイメージでした。

閲覧室は、雑誌と書籍では階が違うものの、よく似た配置で並べられていますので分かりやすく、開架式の書棚には、ところどころに折り畳み式の机のような物がついていました。コピー機やエレベータなど大きな音がする設備は一箇所にまとめられており、本を集めてあるだけでなしに、本を読むということに対しても細かい配慮がなされているように思いました。コンピュータの端末が数ヶ所に置かれ、操作者がくるのを待っているかのようなグリーンのCRT表示が印象的でした。全体としては静かで落ちついており、いかにもハイテク図書館という気がしました。



Briscoe LibraryのLearning Resource Center
(Teaching Learning Center) 受付風景

スタッフの部屋も見せてもらいましたが、机の周りが雑然としているところは日本と同じです。しかし、家族の写真と名札、それにコンピュータの端末がほとんどの机に備えてあるのは日本では見られない光景でした。私は日頃から興味のあったコンピュータが、日常業務にどれくらいとけ込んで機能しているかを見てみたいと思いました。

サンアントニオの図書館は、DECというコンピュータメーカーがモデルシステム構築のため、ずいぶん資金をつぎ込んでいるという噂を聞いていましたが、予想していた以上にコンピュータネットワークシステムが利用されているようです。

視察団のメンバーである森本教授と、日本宛の電子メールを打とうとしたとき、慣れない方に依頼してしまったのでコマンドが通らず、エラーを繰り返していますと、どこからか電話がかかってきて、操作法を指示してくれました。いわゆるヘルプ機能です。普通のコンピュータシステムなら画面にエラーメッセージがでて、その意味をマニュアルで調べ、またコマンドを操作するというステップが必要ですが、電話が加味された、効率的なHELP機能は初めて経験しました。担当者の話では、たくさんの人がコンピュータネットワークシステム上で仕事をしているので、こういったHELP機能がないと、ネットワークの特徴が活かされないし、エラーを繰り返すユーザーが増えると、システムの負担も増加し、他のユーザーに迷惑がかかってしまうとのことでした。

コンピュータネットワークを使ったこの図書館の情報システムは、ハード面から見ますと、現在の日本の技術でできないものはひとつもありませんでしたが、システムを保守あるいは維持していくための人的システムの面では、一朝一夕に整えられないものを持っていると感じさせられました。

現在オンラインで文献を検索するには、実にやっかいな、たくさんの手続きが必要です。時間もかかります。このような手続きを簡略化し、望む結果をすばやく、しかもは再利用可能な形で得られるかどうかが、新しい図書館に電子化が定着するかどうかの鍵となるでしょう。それにはどのようなソフトウェアを使うかが重要だと思います。使いがってのよいソフトウェアを開発し、維持する部署を持たなければならないと思いますし、数個のコマンドと、数字キーだけで望みの処理をさせるには、図書館の機能とコンピュータの両方に精通したスタッフが必要であると思います。

コンピュータネットワークシステムを日常業務の中に取り入れ、気負ったところのとれて

しまった職員の話を聞いていると、これからそういったシステムを構築しようとする阪大には、目に見えない部分での経験の蓄積の差を埋めていく時間があるのだろうかと感じさせられました。同時に図書館が単に活字の情報を集めた場所から、電子化された情報を提供する場所へ変わりつつあることを痛感させられました。

歯学部でもすでにたくさんのマイコンが導入されていますが、それぞれ独立して機能しており(STAND ALONEと呼びます)、コンピュータネットワークを利用する段階にはいたっていません。中之島図書館が医学部とともに吹田地区へ移って来るとなると、これらのマイコンを端末(NETWORK TERMIAL)として利用し、図書館情報を取り出したいという希望が必ずでて来るものと思われます。新しい図書館が、それに耐えられるようなハードウェアを選ぶことと、誤操作をどこまでカバーできるかということが、使いがってのよさを決めるものとなるのではないかと思いました。

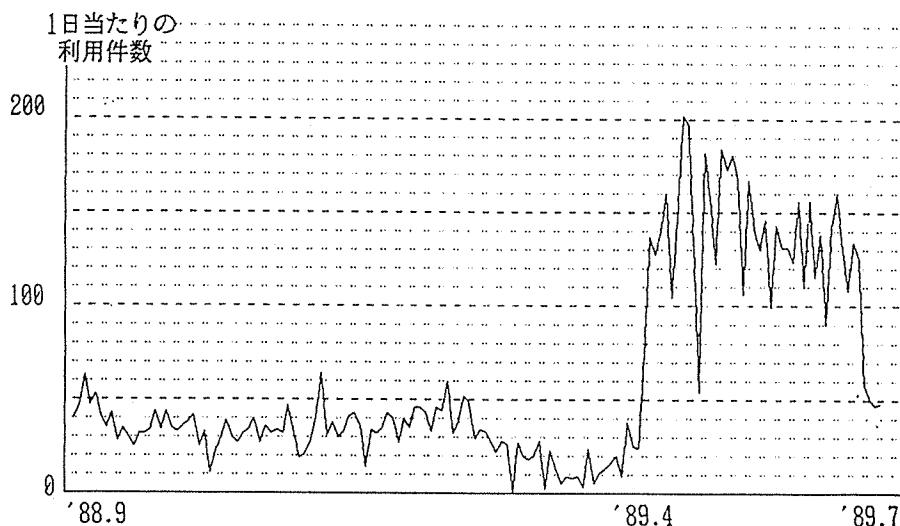
オープンに何でも見せてくださった「Briscoe Library」のスタッフに感謝致します。また、特別視察団員という名前を考えてくださいり、あつかましいお願いを聞いていただいた鈴木分館長にお礼申し上げます。

(たまがわ ひろお 歯学部講師)

利用者オンライン目録検索(OPAC) の利用状況

平成元年4月より、利用者オンライン目録検索(OPAC)の端末を3台増やしました。それまで、利用時間の25%の時間は端末がふさがっていて、利用したくても利用できない状況でした。増設した4月以降の利用を調査してみたところ、つぎのグラフのように、4月から急に利用が増えてきました。一日に100から150件の利用をみています。多いときには、一日200件以上の利用がありました。そして、端末がふさがって利用できない時間は、4月から利用時間の10%以下に縮小できています。

OPAC 利用状況統計 グラフ



利用が急増した理由についてはつきの様なことが考えられます。丁度、このころは新入生のオリエンテーションが済んだ時で、新入生が図書館を使い始めたということが理由の一つでしょう。初めて利用する阪大図書館にすでにOPACの端末があり、図書館資料を探す手段としてOPAC端末を利用するということが、既定の事実として新入生に受け入れられたということが考えられます。

もうひとつの理由として、端末を増設したことが利用を促したということも考えられます。増加比率でみてみると、台数の増加比率以上に利用の増加比率が大きいという結果となっています。すなわち、台数の増加比率の2倍弱の比率で利用が増えているということです。まだまだ結論づけるのは早いのですが、「供給が需要を増大させる」という図書館の基本原則が立証された思いがします。

なお、グラフに使ったデータはデータベースへの接続回数をカウントしたものであり、そのうえ、一日フルにサービスできた日のみ集計しています。

新入生の方のためにこのシステムについて少し説明します。

図書館カウンター前のこの端末で、大学全体で購入した図書雑誌の所在情報、何がどこにあるかという情報を調べることができます。検索方法に幾つか用意しました。機能が単純で操作が優しい画面モードでの簡易検索、コマンドを使うことで機能が強化されたコマンド画面モードの検索、それと大型・中型汎用機のTSSモードと同じラインモードでの多機能型検索です。お好みにあわせてお使いください。

対象となるデータベースは毎日更新されていますので、新しく受け入れされ目録の済んだ図書が配架されるのと同時に検索ができます。また、貸出状況も貸出管理データベースと完全に連動していますので、つねに最新の貸出状況を表示しています。

また、教官研究者や図書室の方に再度ご案内いたします。

研究室図書室にいながら、このOPACのサービスを受けることができます。パソコンなどを使って電話線による接続が可能な端末をご用意ください。そうすれば、吹田地区・豊中地区ならば内線電話で、中之島地区は外線で図書館システムに接続していただき、ラインモードでの検索が、場所を問わず可能となります。

パソコンは廉価なもので20万円くらいからあり、音響カプチーノやモデムと通信ソフトを取り揃えることで、手持ちの内線電話等で図書館のシステムと接続し検索することができます。利用の申込方法等は図書館情報管理課システム管理掛（豊中地区内線2330）までお問い合わせください。

また、洋雑誌については阪大大型計算機センターでも公開していますのでご利用ください。こちらのほうは月一回の更新ですが、大型機の検索システムをそのまま利用できますので、検索方法がとても強力です。このシステムはとくに外国雑誌センター館として収集しているレアな雑誌の検索もできますので、他の国立大学からも利用されています。この阪大大型計算機センターの利用については大型計算機センターの共同利用掛（吹田地区内線2814～15）にお問い合わせください。また、「大阪大学大型計算機センターニュース」Vol. 18 No. 2 1988-8 第70号 p. 47～53や「大阪大学大型計算機センター速報」1988. 7. 25 No. 160 p. 6～12でこのシステムについて紹介させていただいておりますのでご覧ください。

1988年度利用統計（本館）について

昨年度（1988年度）本館で電算処理によって短期貸出をした冊数は91,419冊であった。

表1は1988年度に本館で短期貸出された図書を主題別に分けてグラフにしたものである。

主題別に見た利用の傾向は昨年度とあまりかわっていない。物理、数学、法学関係の図書がよく利用されており、次いで化学、経済学関係の図書が利用されている。

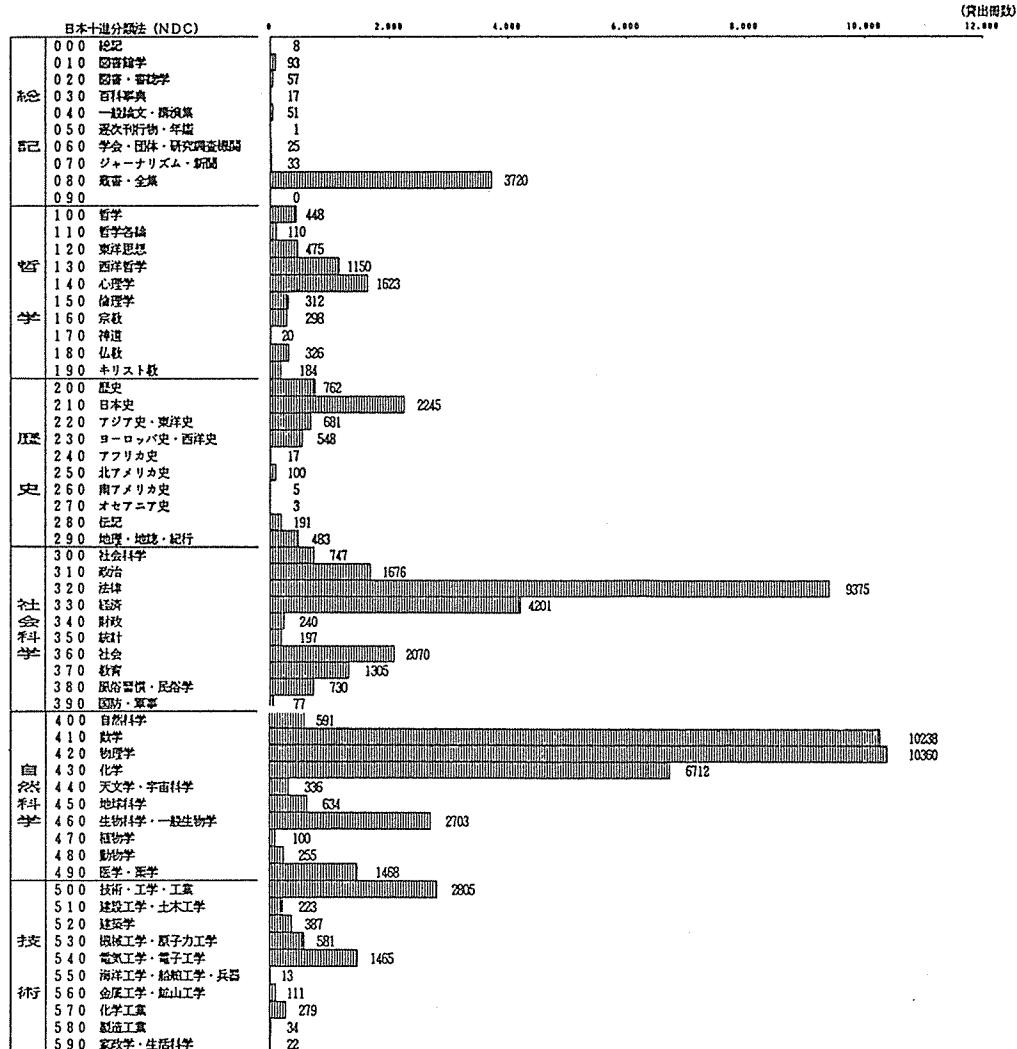
表2は本館で1985年から1988年までに短期貸出された図書の冊数を主題毎に分けてグラフにしたものである。1986年度、1987年度の利用が落ち込んでおり、1988年度になってやや持ち直しているが、この原因が何によるものかは、4年間のデータでは何とも言えない。

表3より芸術・言語関係の資料の貸出がこの4年間でほぼ2倍になっていることがわかる。言語関係の貸出が増えたのは1987年夏よりカウンターの横にカセットコーナーを新設し、利用者が利用しやすいようにしたためと思われる。

昭和63年度 主題別利用統計（本館）

(表1)

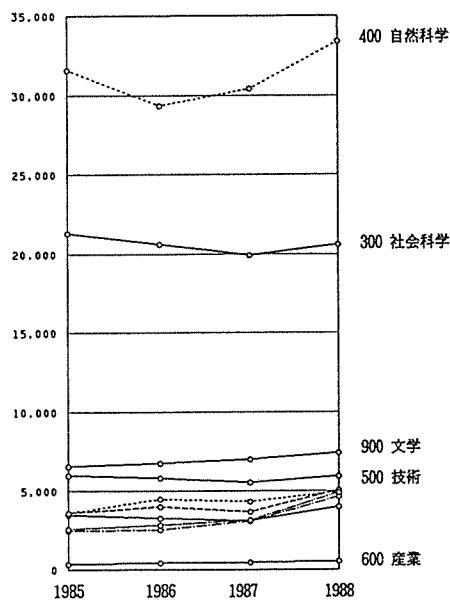
(貸出冊数)



		(貸出冊数)					
日本十進分類法(NDC)		2,000	4,000	6,000	8,000	10,000	12,000
産業	600 産業	50					
	610 工業	128					
	620 国際・通商	41					
	630 貿易業	0					
	640 吉本業・貿易学	13					
	650 林業	10					
	660 水産業	7					
	670 商業	164					
	680 運輸・交通	98					
芸術	690 通運事業	21					
	700 美術	1551					
	710 彫刻	104					
	720 版画・書道	910					
	730 版画	7					
	740 写真・印刷	98					
	750 工芸	101					
	760 音楽	919					
	770 演劇・映画	481					
技術	780 スポーツ・体育	434					
	790 飲食・旅館	36					
	800 言語	554					
	810 日本語	1145					
	820 中國語・東洋の諸言語	325					
	830 英語	1978					
	840 フィンランド語	348					
	850 フランス語	315					
	860 スペイン語	41					
言語	870 イタリア語	29					
	880 ロシア語	123					
	890 その他の諸言語	39					
	900 文学	601					
	910 日本文学	3418					
	920 中国文学・東洋文学	614					
	930 英米文学	1450					
	940 フィンランド文学	584					
	950 フランス文学	452					
文学	960 スペイン文学	24					
	970 イタリア文学	11					
	980 ロシア文学	159					
	990 その他の諸文学	105					

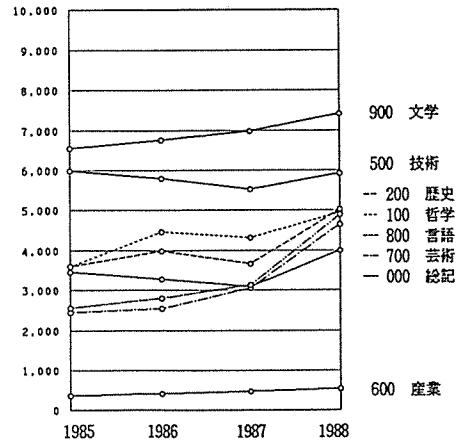
主題別利用統計1985～1988（本館）

(表2)



(表3)

(表2の下の部分の拡大)



平成元年度教養図書選定顧問教官との懇談会開かれる

去る6月20日（火）に館長と教養図書顧問教官との懇談会が開かれた。懇談会は、年1回開かれることになっており、当日は溝口宏平（教）、三成賢次（法）、池谷元伺（理）、橋本一成（医）各顧問教官および図書館側から館長以下7名の館員が出席して行われた。話し合われた主な内容は、以下のとおりです。

1. 報告事項として、昭和63年度教養図書の選書結果および利用状況等について、本館、中之島分館、吹田分館からそれぞれ報告が行われ、顧問教官から報告内容について質疑応答があった。
2. 協議事項として、1) 平成元年度選書方針について 2) 平成元年度教養図書費配分額内訳についての2点が話し合われ、質疑応答の結果原案どおり承認された。

教官著作寄贈図書

一本 館一	家事審判事件の研究(1)(2)
後藤 照雄、東野 治之（教・助教授）	久喜忠彦他編 (一粒社 1988)
上野本 注千字文注解 (和泉書院 1989)	相続の法律入門 第3版 谷口知平、久喜忠彦編 (有斐閣 1988)
原田 平作（教・教授）	日本の美術 (昭和堂 1989)
日本の美術 (昭和堂 1989)	村橋 俊一（基・教授） 有機化学資源の再評価と高度利用を目指す基礎的研究 文部省科研費「特定研究」 (東京都立大理 1988)
梶田 敏一（人科・助教授）	子供の自己概念と教育 上下 (韓国教育出版 1988)
子供の自己概念と教育 上下 (韓国教育出版 1988)	村上 信吾（理・教授） 多様体 第2版 (共立出版 1989)
韓国語訳本 (韓国教育出版 1988)	大久保正一（法・教授） 有機的都市論 (都市文化社 1989)
眞の個性教育 (韓国教育出版 1988)	大峰 顯（教・教授） 花月の思想 (晃洋書房 1989)
眞の個性教育 (韓国教育出版 1988)	今日の宗教の可能性 (本願寺出版部 1989)
葛西 道生（基・教授）	都出比呂志（文・教授） 古代史復元 6 古墳時代の王と民衆 (講談社 1989)
International Symposium on Ion Channels & Electrogenic Pumps in Bio-membranes. Abstracts of the Lectures & the Posters, Jan 8-10, '86. Osaka. (Osaka Univ. 1986)	小森田精子（教・講師） 東の科学西の科学 小森田精子他著 (東方出版 1988)
小森田精子（教・講師） 東の科学西の科学 小森田精子他著 (東方出版 1988)	日本農耕社会の成立過程 (岩波 1989)
久喜 忠彦（法・教授） 新版 注釈民法（27）	谷口知平、久喜忠彦編 (有斐閣 1989)

裏 克己（工・教授）
 菅田栄治先生追想文集
 (故菅田栄治先生追想文集刊行会 昭98)
 吉田 正勝（言文・教授）
 ケラー作品集5
 吉田正勝 他訳

—基礎工学部図書分室—

三井 利夫（基・教授）
Ferroelectrics vol.86
 Special Issue : Electricity and biophysics.
 Guest ed. T. Mitsui et al.
 (Gordon & Breach 1988)
 森本 吉春（基・助教授）
 画像処理
 (プレイマイコン・シリーズ5)
 (培風館 1984)
 パソコン画像処理ハンドブック
 3 高速汎用画像処理プログラム
 PIMPOM
 (共立出版 1988)

—理学部図書分室—

原 富之（理・名誉教授）
Molecular Physiology of Retinal Proteins (Proc. of Yamada Conference 21)
 (Yamada Sci. Found. 1988)

—中之島分館—

森本 兼襄（医・教授）
 プライマリ・ケア 家庭および地域包括医療の実践 —その理論的基礎
 Robert E. Rakel著、小泉明監訳
 森本謙襄 責任編 東大医学部公衆衛生学教室編
 (HJB出版局 昭62)

SCE—姉妹染色分体交換と環境科学
 小泉明、森本兼襄 編
 (サイエンスフォーラム 昭60)
 生活週間と健康 ライフスタイルの科学
 (原題 : Health & Ways of Living)
 Lisa F. Beakman, 他著
 森本兼襄 監訳、星旦二 編訳
 (HJB出版局 平1)
Sister Chromatid Exchanges. 25 years of Experimental Research.
 (Basic Life Sciences Vol. 29AB)
 By Raymond R. Tice et al.
 (Plenum Press 1984)

中村 仁信（微研・講師）
 臨床医に必要な動脈分岐様式—破格とその頻度
 田口鉄男 監修、中村仁信 他訳
 (癌と化学療法 昭63)
 吉田 博（医・教授）
 内因性神経活性物質
 (中外医学社 平1)
 吉矢 生人（医・教授）
 生理学の夜明け
 —血液ガスと酸塩基平衡の歴史—
 ポール・アストラップ、ジョン・セバリングハウス著、吉矢生人、森隆比古 訳
 (真興交易 平1)

—薬学部分館—

北川 黜（薬・教授）
 海洋生物のケミカルシグナル
 北川 黜 伏谷伸宏 編
 (講談社 1989)
 近藤 雅臣（薬・教授）
 生命現象から見た食品衛生
 (化学同人 1989)

***** 会 議 *****
分館長会議

元. 7. 11. (火) 13:00~14:35 (本館 館長室)

報告事項：平成2年度概算要求について。情報管理課長から、資料に基づき、前回の本会議で協議願った事項を提出したことの説明があった。

協議事項：1. 平成元年度予算配分（案）について。情報管理課長から資料に基づき配分要領及び事業費・運営費の配分額について、各項目別に説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。2. 次期図書館長の選考日程について。矢守図書館長が来年3月31日で任期満了となるため、情報管理課長から、次期図書館長選考のための日程及び手続きについて提案があり、承認された。

○ 図書館委員会

元. 7. 11. (火) 15:00~16:40 (本館 会議室)

報告事項：1. 主要行事について。鈴木中之島分館長、事務部長及び医学情報課長から、資料に基づき、各種会議及び委員会の活動状況の報告があった。2. 平成元年度概算要求について。情報管理課長から、前回の本委員会で承認された事項を要求したとの報告があった。3. 図書館利用状況について。情報サービス課長から、資料に基づき昭和63年度の入館者数及び短期貸出冊数について報告があった。4. 教養図書選定顧問教官との懇談会について。情報サービス課長から、6月20日開催の標記懇談会において、平成元年度の選書方針及び教養図書費配分案が承認された旨、報告があった。5. 大型コレクションについて。情報管理課長から、本年度収書方針の文部省への提出について報告があった。

協議事項：1. 平成元年度予算配分（案）について。情報管理課長から、資料に基づき配分要領及び事業費・運営費の配分額について、各事項別に説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。2. 次期図書館長の選考日程について。矢守図書館長が3月31日で任期満了となるため、情報管理課長から、次期図書館長選考のための日程及び手続きについて提案があり、承認された。

○ 中之島分館運営委員会

元. 5. 25. (水) 11:00~12:00 (中之島分館会議室)

協議事項：1. 生命科学図書館LRC等設備要求について。協議の結果、原案どおり承認された。2. 生命科学図書館新設後の医学部附属病院へのサービスについて。

元. 7. 18. (木) 15:00~17:00 (中之島分館会議室)

協議事項：1. 平成元年度中之島分館資料費部局分担額（案）。2. 平成元年度製本費予算配分（案）。3. 生命科学図書館部局分担金で購入する外国雑誌選定について。4. 生命科学図書館1/100画面について。

以上4項目について協議を行い、1、2については原案通り承認された。

吹田地区運営委員会

元. 7. 26 (水) 15:00~16:00 (吹田分館会議室)

協議事項：1. 平成元年度学生用図書費の執行計画について協議し、原案どおり承認された。2. 外国雑誌について、受入タイトルの見直しを行うことが承認された。

***** 日 程 *****

元. 5. 16	大型コレクション打合せ	(本館)
元. 5. 19	近畿地区医学図書館協議会例会	(京都大学)
元. 5. 25	中之島分館運営委員会	(中之島分館)
元. 5. 29	国立大学附属図書館事務部課長会議	(東京医科歯科大学)
元. 5. 30~31	国立大学図書館協議会理事会等	(東京大学)
元. 6. 1 ~ 2	日本医学図書館協会総会(第60回)	(日本大学)
元. 6. 7	国公私立大学図書館協力委員会	(本館)
元. 6. 14	近畿地区国公立大学図書館協議会総会	(神戸大学)
元. 6. 20	教養図書選定顧問教官との懇談会	(本館)
元. 6. 29~30	国立大学図書館協議会総会	(弘前大学)
元. 7. 11	分館長会議	(本館)
元. 7. 11	図書館委員会	(本館)
元. 7. 13	図書館建築基準に関する特別委員会	(京都大学)
元. 7. 14	科研費(試験研究)打合せ	(東京大学)
元. 7. 14	文献複写に係る著作権問題特別委員会	(東京大学)
元. 7. 15	学術情報システム特別委員会	(東京大学)
元. 7. 18	生命科学図書館ワーキング・グループ会合	(中之島分館)
元. 7. 18	中之島分館運営委員会	(中之島分館)
元. 7. 26	吹田分館運営委員会	(吹田分館)

人事異動

異動前の所属・職名	氏 名	異 動 内 容	発令年月日
	西垣 健一 多田佳代子 竹田 美幸	(採 用) 事務補佐員医学情報課資料運用掛 " 情報サービス課資料運用掛 " 吹田分館資料受入掛 (昇 任)	元. 4. 17 元. 6. 16 元. 7. 17
情報管理課和書目録情報掛長 情報サービス課資料運用掛文部事務官 産業科学研究所文部事務官 医学情報課図書受入掛資料収集主任	山下 進 宮田 正徳 名倉 愛子 山口賀代子	情報管理課課長補佐 兵庫教育大学教務部図書課整理係長 情報管理課和書目録情報掛長 吹田分館資料受入掛長 (配 置 換)	元. 5. 1 " " 元. 8. 1 "
情報管理課洋書目録情報掛文部事務官 情報管理課和書目録情報掛文部事務官 工学部文部事務官 基礎工学部文部事務官 医学情報課雑誌情報掛 情報サービス課理学情報掛主任	村上 健治 和田山祥子 金森 孝之 瀬尾実喜子 生田 量子 平林 京子	情報サービス課資料運用掛 " 理学情報掛 医学情報課図書受入掛(蛋白研図書室) " 雜誌情報掛(微研図書室) 人間科学部図書室 基礎工学部図書室主任 (転 任)	元. 5. 1 元. 8. 1 " " " 元. 8. 1
兵庫教育大学教務部図書課整理係長	宮内 修	吹田分館目録情報掛長 (退 職)	元. 5. 1
事務補佐員情報サービス課資料運用掛 " 情報サービス課資料運用掛 " " 参考調査掛 " 吹田分館資料受入掛	辻本 敏子 平岡 利次 上山 友一 古莊 秀子		元. 6. 1 元. 7. 10 " 元. 7. 15

昭和63年度 図書館の概況 (1)

館(室) 項目		本館			中之島分館				吹田分館		薬学部 分館	合計	
		本館	人間 科学部 図書室	理学部 図書室	基礎 工学部 図書室	中之島 分館	歯学 分室	微生物病 研究所 図書室	蛋白室 研究所 図書室	吹田 分館			
蔵書・受入	蔵書数	1,152,073	127,426	137,479	112,038	278,344	*	30,114	14,339	347,139	43,956	33,394	2,276,302
	年間図書受入数	36,040	6,528	3,534	3,783	14,732	1,062	1,216	606	8,706	1,244	874	78,325
	現行雑誌種類数	4,909	1,337	615	1,210	7,314	387	341	261	2,941	416	299	20,030
	資料費(千円)	283,315	43,925	56,566	74,187	216,842	*	11,746	9,754	148,659	26,597	12,153	883,744
施設・職員	建物面積(m ²)	9,488	543	667	453	2,503	200	268	288	5,170	387	374	20,341
	閲覧座席数	866	53	52	45	164	16	13	23	497	24	50	1,803
	職員数(内定員)	50(26)	4(4)	5(2)	5(5)	25(2)	2(1)	2(2)	2(2)	22(7)	2(2)	4(3)	123(66)
利用・貸出	利用者数	5,397	642	945	1,404	1,588	579	0	89	4,869	106	277	15,896
	教職員	812	92	271	326	1,594	419	219	229	1,199	150	87	5,398
	入館者数	647,173	—	—	—	119,294	26,640	37,916	—	175,286	—	—	(1,006,309)
	館外貸出人數	55,932	2,403	6,517	7,340	18,049	5,817	1,940	3,035	19,369	1,813	2,423	124,638
	館外貸出冊数	94,354	3,911	11,057	12,010	31,952	7,883	2,787	3,616	32,097	1,497	3,323	204,487
	受付	件数	—	—	7,376	108,608	12,051	59,250	47,730	8,236	—	—	(243,251)
文献複写	件数	24,456	—	555,637	154,711	650,188	71,791	356,056	286,345	83,550	345,324	298,020	2,826,078
	件数	2,055	113	2,147	783	3,171	28	1,375	1,777	687	3,592	619	16,347
	枚数	9,862	832	12,384	5,550	17,940	213	8,147	9,484	6,990	20,181	3,038	94,621
	件数	2,971	/	1,164	1,008	363,440	/	432	/	2,310	/	1,136	372,461
	枚数	34,697	/	8,721	10,529	2,160,910	/	4,364	/	20,729	/	7,056	2,247,006
	依頼	件数	344	458	997	1,271	525	1,439	1,159	754	623	1,220	1,290
図書相互貸借	件数	1,172	303	354	491	745	184	224	58	795	79	181	4,586
	件数	675	37	51	101	670	*	19	11	509	38	18	2,129
	件数	307	/	/	2	25	*	/	/	81	/	0	415
	件数	124	687	258	126	204	9	10	16	39	6	39	1,518
参考調査	件数	458	/	/	/	23	/	/	/	25	/	2	508
	件数	228	58	25	13	75	62	9	11	50	4	104	639
	件数	218	/	/	/	22	2	/	/	/	/	0	242
	件数	2,323	71	367	—	4,654	695	—	—	4,188	—	—	12,290
所在調査	件数	168	18	38	—	830	155	—	—	556	—	—	1,765
事項調査	件数	3	7	25	—	595	76	—	—	958	—	—	1,664
利用指導	件数	303	/	/	/	1,972	331	346	/	566	/	7	3,525
情報検索	件数	—	業務算定を行っていない館(室)の場合	業務を自館では取り扱っていない場合	—	中之島分館に含む	—	—	—	—	—	—	—

— 業務算定を行っていない館(室)の場合 / 業務を自館では取り扱っていない場合 * 中之島分館に含む

昭和63年度 図書館の概況(2)

区分	項目	蔵書数(和・洋別)			年間図書受入数			雑誌受入種類数			図書資料費(内訳)				
		(A) 和 文 学 部	(B) 洋 文 学 部	(A) +(B) (C+D)	購入 寄贈 製本受入	その他 (1)	計	購入 寄贈 計	購入 寄贈 計	(E) +(F) (千円)	(E) 図書 雑誌	(F) 図書 雑誌	製本費 (千円)		
図書館(本館)	180,781	67,113	247,894	7,383	867	974	-1,696	7,535	186	481	667	51,775	37,637	14,138	2,320
文学部	149,283	136,983	286,266	6,752	1,902	760	9,414	482	1,052	1,534	61,564	51,655	9,909	1,246	
人間科学部	42,081	35,345	127,426	5,204	63	785	+476	6,328	789	548	1,337	43,925	29,003	14,922	1,210
法律学部	72,735	89,750	162,485	4,852	445	354	5,651	410	380	740	48,965	34,835	14,130	516	
経済学部	85,868	75,490	161,358	2,612	85	1,830	4,527	464	511	975	34,748	17,135	17,613	2,816	
教育学部	83,843	123,557	207,400	3,472	285	1,059	4,816	435	0	435	48,315	21,115	27,200	1,631	
言語文化部	13,057	37,010	50,067	2,258	114	46	2,418	292	0	292	17,172	13,453	3,719	68	
健 康 体 育 部	5,369	813	6,182	521	0	55	576	46	30	76	5,556	3,988	1,568	84	
社会経済研究所	16,165	14,256	30,421	687	111	305	1,103	190	0	190	15,220	6,902	8,318	466	
小計	649,182	630,317	1,279,499	33,741	3,872	6,168	-1,213	42,568	3,294	2,952	6,246	322,240	215,723	111,517	10,357
基礎工学部(図書室)	21,597	115,882	137,479	1,159	772	1,532	+71	3,534	519	96	615	56,566	14,072	42,494	2,739
小計	32,996	79,042	112,038	2,324	212	1,247		3,783	980	230	1,210	74,187	24,701	49,486	1,928
合計	703,775	825,241	1,529,016	37,224	4,856	8,947	-1,142	49,885	4,793	3,278	8,071	457,993	254,496	203,497	15,024
中図書館(分館)	91,576	186,768	278,344	3,490	335	10,258	+649	14,732	6,265	1,049	7,314	216,842	39,130	177,712	17,017
中之島分室	*	*	*	401	54	907	1,062	282	105	387	*	*	*	*	*
微生物病研究所図書室	6,077	24,037	30,114	252	67	897		1,216	229	112	341	11,746	2,799	8,947	1,397
蛋白質研究所図書室	1,332	13,007	14,339	96	18	492		606	96	165	261	9,754	553	9,161	757
合計	98,985	223,812	322,797	4,239	474	12,254	+649	17,616	6,872	1,431	8,303	238,342	42,522	195,820	19,171
図書館(分館)	61,566	40,846	102,412	1,113	165	678	+500	2,456	323	695	1,018	19,694	7,949	11,745	1,162
工学部	83,337	141,594	224,931	2,015	140	2,849	-11	4,993	1,636	50	1,686	109,501	33,770	75,731	4,392
吹送接工学研究所	848	2,193	3,041	110	0	135		245	69	2	71	4,380	1,925	2,455	207
レーザ融合理研究センター	1,003	2,144	3,147	67	0	103	170	34	0	34	3,072	776	2,296	159	
核物理研究センター	2,678	6,280	8,958	211	0	187		398	48	2	50	7,424	2,291	5,133	287
大型計算機センター	1,521	3,129	4,650	259	5	180		444	81	1	82	4,588	1,727	2,861	273
産業科学研究所図書室	10,573	33,383	43,956	504	6	795	-61	1,244	320	96	416	26,597	6,226	20,371	1,202
合計	161,526	229,569	391,095	4,279	316	4,927	+428	9,950	2,511	846	3,357	175,256	54,664	120,592	7,682
葉学部分館	13,122	20,272	33,394	206	33	635		874	141	158	299	12,153	2,604	9,549	977
総合計	977,408	1,298,894	2,276,302	45,948	5,679	26,763	-65	78,325	14,317	5,713	20,030	883,744	354,296	529,458	42,851

* 中之島分館に含む
(1) 管理換用用換等